



(onnect Beyond 2026年3月期中間決算説明会



東京エレクトロン デバイス株式会社

2025年10月30日

アジェンダ

決算報告

取締役 執行役員副社長 宮本 隆義

2026年3月期 業績見込み

代表取締役社長·CEO 徳重 敦之



取締役 執行役員副社長 宮本 隆義

2026年3月期 中間決算概要

前年同期比 減収減益

売上高 13.8% 減少

経常利益 40.3% 減少

親会社株主に帰属する当期純利益 40.1%減少

中間業績予想比

売上高 +5.3%

経常利益 +11.1%

親会社株主に帰属する当期純利益 +12.2%

業績概要 前期比

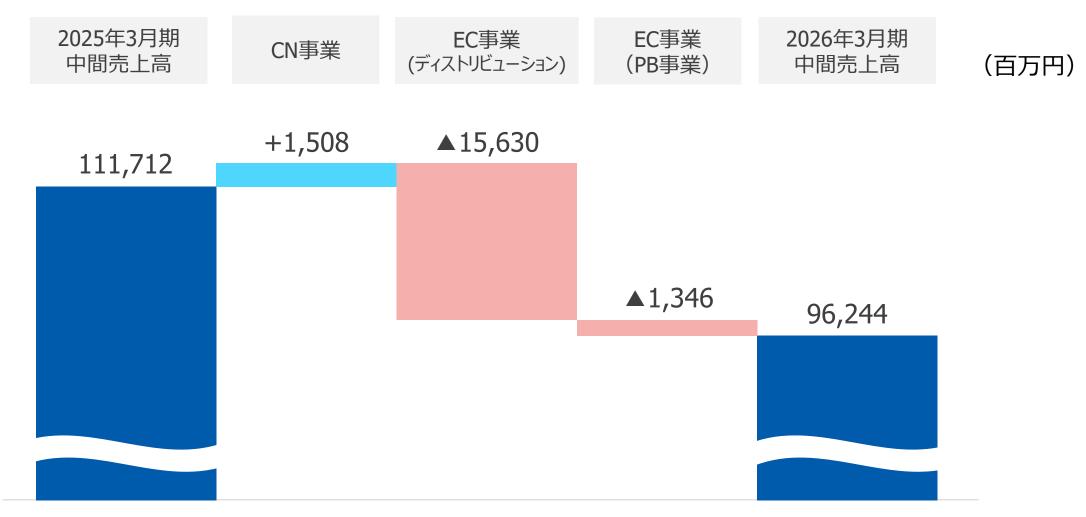
(百万円)

				(— / 3 / 3 /
	2025年3月期 中間	2026年3月期 中間	増減額	2026年3月期予想 (4月28日発表)
売上高	111,712	96,244	▲ 15,468	91,400
売上原価	95,288	82,398	▲ 12,889	
売上総利益	16,423	13,845	▲ 2,578	
販管費	10,131	10,283	152	
営業利益	6,292	3,561	▲ 2,730	
営業外収益 営業外費用	203 348	286 180	83 ▲ 167	
経常利益	6,147	3,667	▲ 2,480	3,300
中間純利益	4,305	2,580	▲ 1,725	2,300
従業員数	1,387名	1,424名	37名	

[※] 中間純利益は親会社株主に帰属する中間純利益

5

業績概要 売上高 増減



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。 PB事業には、東京エレクトロンデバイス長崎株式会社を含んでおります。

セグメント別 売上高・利益

• CN事業 ストレージ関連製品 セキュリティ関連製品 販売好調 保守・監視サービスも拡大 増収増益

• EC事業 顧客商権拡大も顧客在庫調整の影響長期化 減収減益

(百万円)

	2025年3月	2025年3月期 中間 20			2026年3月期 中間		
	売上高	セグメント 利益	売上高	増減額 (増減率)	セグメント 利益	増減額 (増減率)	
コンピュータシステム関連 (CN)事業	17,687	2,168	19,195	1,508 (+8.5%)	2,608	439 (+20.3%)	
半導体及び電子デバイス (EC)事業	94,024	3,978	77,048	▲ 16,976 (▲ 18.1%)	1,058	▲ 2,920 (▲ 73.4%)	
合計	111,712	6,147	96,244	▲15,468 (▲ 13.8%)	3,667	▲ 2,480 (▲ 40.3%)	

[※] セグメント利益は経常利益

[※] セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

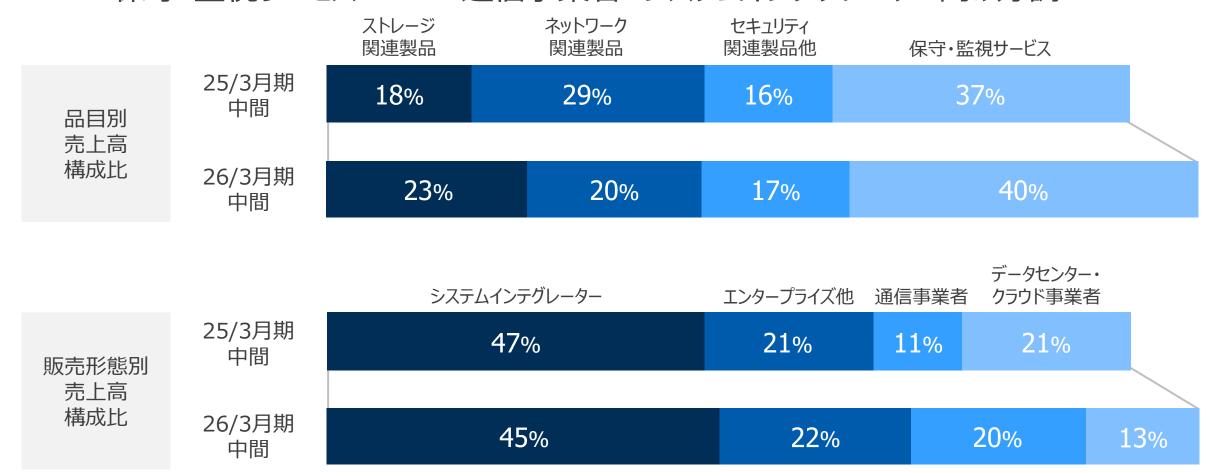
セグメント情報 CN事業

- ストレージ関連製品
- ネットワーク関連製品
- 保守・監視サービス

通信事業者 好調

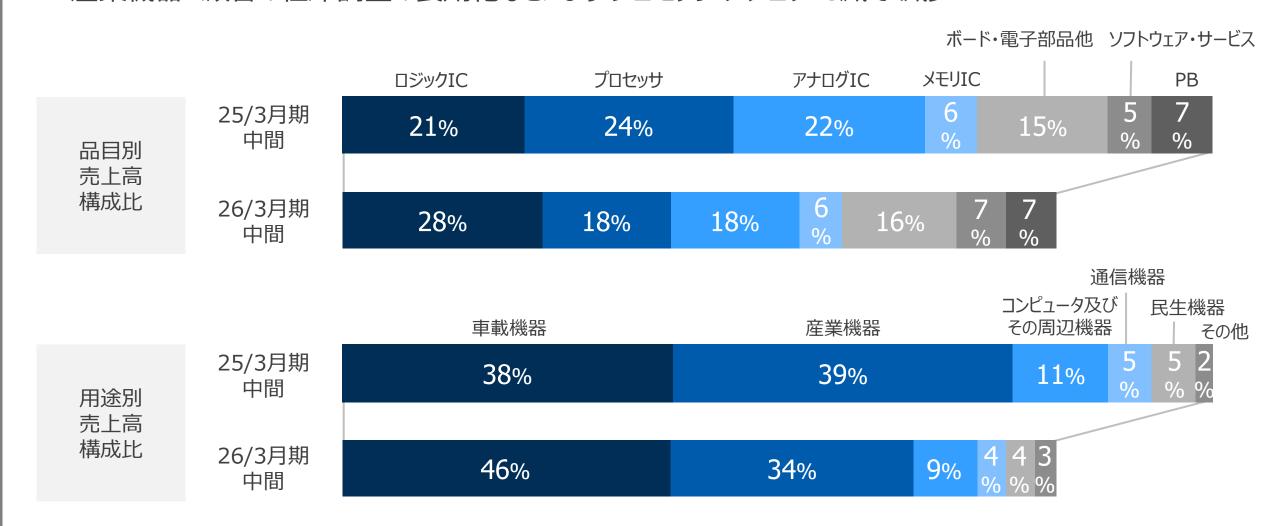
DC・クラウド事業者向け減少

通信事業者 システムインテグレーター向け好調



セグメント情報 EC事業

- 車載機器 商権拡大でロジックIC増 顧客の在庫調整などによりプロセッサ アナログIC減で前年同水準
- 産業機器 顧客の在庫調整の長期化などにより プロセッサ アナログIC減で 減少



海外連結子会社 売上高

• コンピュータ及びその周辺機器 低調

	2025年3月期 中間	2026年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	26,406	20,455	▲ 5,951	▲22.5 %
海外連結子会社 売上高比率	28.1%	26.5%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	172	140	▲ 32	▲ 19.0%
為替レート(円)	152.78	146.02		

[※] 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

PB事業 売上高

• TED ウェーハ検査装置 顧客の在庫調整が継続し減少 設計・量産受託サービス 産業機器向け低調

• TED長崎 自社製品の情報通信機器 好調

(百万円)

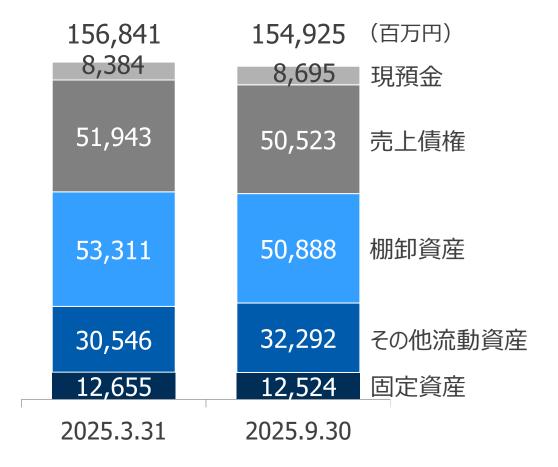
	2025年3月期 中間	2026年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	6,986	5,639	▲ 1,346	▲ 19.3%
売上高比率	7.4%	7.3%		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

貸借対照表

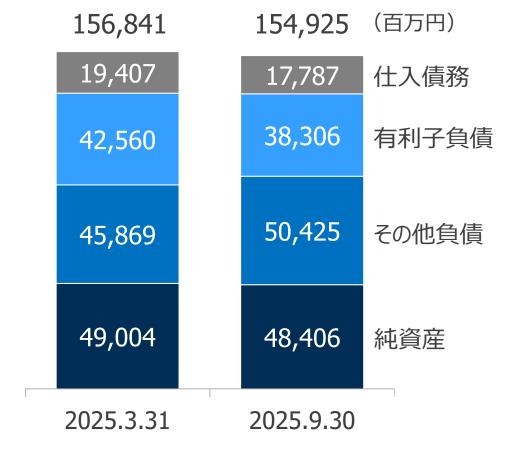
資産

- 売上高減少に伴い 売上債権・棚卸資産減少
- 保守サービス伸長により 前払費用増加

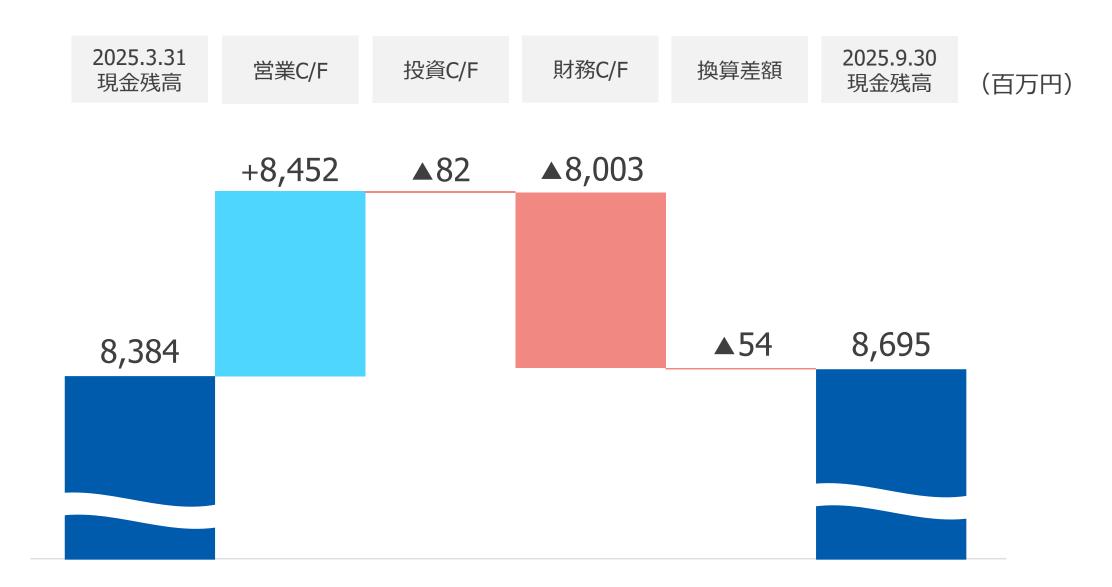


負債·純資産

- 運転資金の減少により有利子負債減少
- ・ 保守サービス伸長により 前受金増加



キャッシュ・フロー計算書



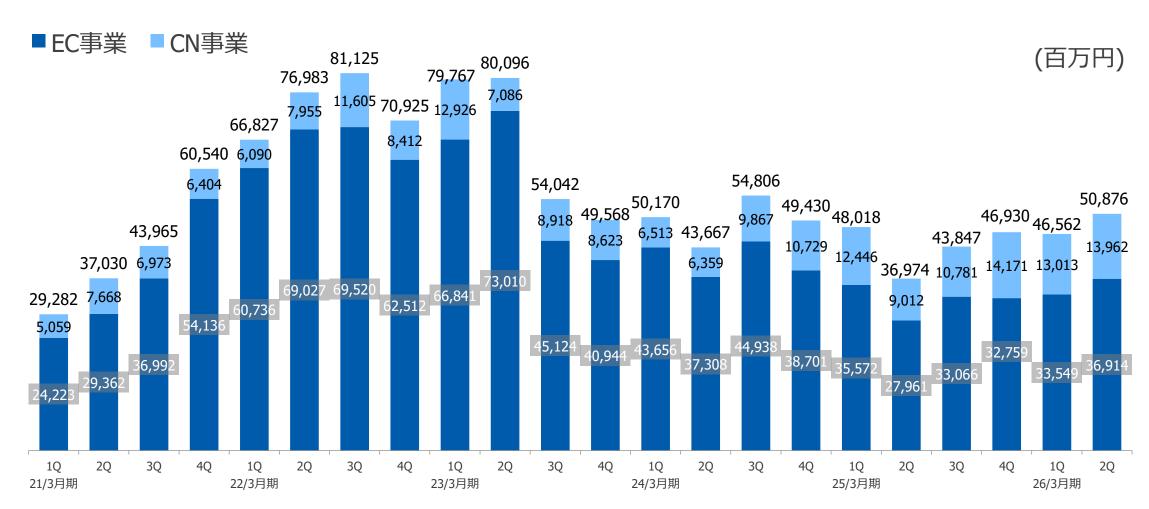
受注高の推移

· CN事業

IT投資は堅調 製品 保守・監視サービスともに好調

EC事業

顧客在庫は徐々に正常化に向かうも 需要の本格的な回復には至らず





(onnect Beyond 2026年3月期 業績見込み

代表取締役社長·CEO 徳重 敦之

2026年3月期 業績見込み概要

● 通期連結業績予想を修正

経常利益:9.0%減益 当期純利益:2.9%增益

- EC·PB事業は調整期が継続
- CN事業は堅調

米国の関税措置による影響は 引き続き注視 (事業計画に組み入れず)

2026年3月期 通期連結業績予想

(百万円)

		2026年3月期							
	2025年3月期	A: 前回発表予想 (2025年4月28日)	B: 今回修正予想 (2025年10月29日)	増減額 (B – A)	増減率				
売上高	216,379	200,000	200,000	-	-				
経常利益	11,415	10,000	9,100	▲ 900	▲ 9.0%				
当期純利益	8,874	7,000	7,200	200	2.9%				

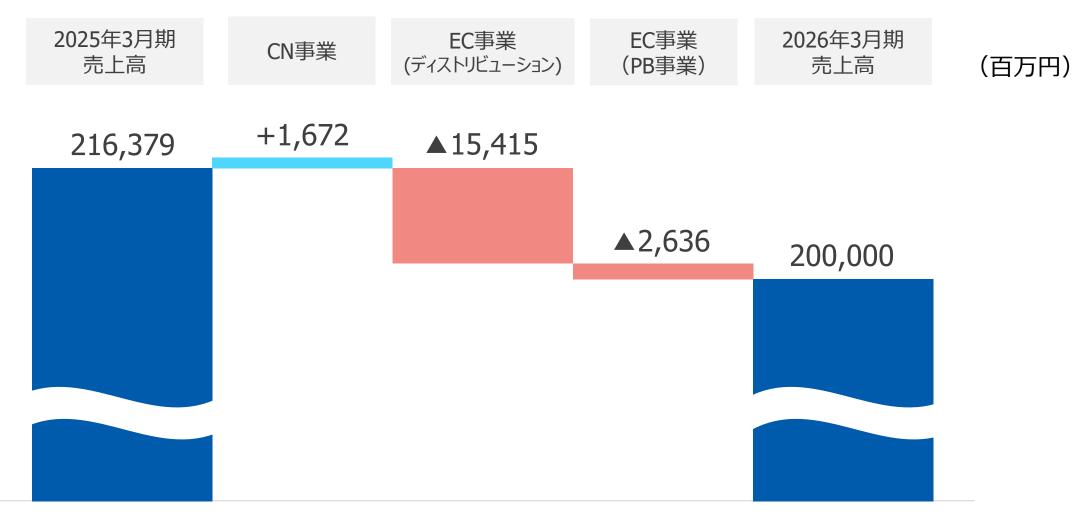
2026年3月期 セグメント別 業績見込み

(百万円)

						(1 7 3 1 3 /
	2025年3月期		2026年3月期	対前期比		
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	216,379	96,244	103,755	200,000	▲ 16,379	▲7. 6%
CN事業	37,327	19,195	19,804	39,000	1,672	4.5%
EC事業(連結)	179,051	77,048	83,951	161,000	▲ 18,051	▲ 10.1%
EC事業	164,415	71,408	77,591	149,000	▲ 15,415	▲ 9.4%
PB事業	14,636	5,639	6,360	12,000	▲ 2,636	▲ 18.0%
経常利益 (利益率)	11,415 (5.3%)	3,667 (3.8%)	5,432 (5.2%)	9,100 (4.6%)	▲ 2,315	▲20.3%
当期純利益 (利益率)	8,874 (4.1%)	2,580 (2.7%)	4,619 (4.5%)	7,200 (3.6%)	▲ 1,674	▲18.9%

[※] 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期 セグメント別 業績見込み 売上高増減



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。 PB事業には、東京エレクトロンデバイス長崎株式会社を含んでおります。

事業計画前提(事業環境)

		2026年3	3月期	2027年3月期			
		上期	下期	通期			
		調整期		回復期			
	半導体	顧客在庫の解消に遅れ	徐々に在庫水準適正化	2 緩やかな回復基調			
	ウェーハ	在庫調整が継	続し低調	徐々に回復			
EC ·	産業機器			徐々に回復			
PB	車載機器	(-/u/v=1					
	中国	停滞の長	徐々に回復				
	商権	新規顧客商権の寄与					
CN	IT	セキュリティ中心にIT市場は堅調に推移					
	為替動向	平均レート: 146.02円 14	45円~150円のレンジを想定	_			

VISION2030 利益成長を加速する取り組み (CN事業)

● ソリューション領域の拡充

複数の新規海外ベンダーと代理店契約を締結 販売開始

®セキュリティ

社名

本社

ポイント

特徴



米国ニュージャージ州

国内初パートナー

Active Directory (AD)への 脅威を検知・防御・復旧する





米国カルフォルニア州

国内初パートナー

生成AI安全性の向上 運用効率化



米国カリフォルニア州

統合型企業内ナレッジ 活用AIプラットフォーム 企業向け生成AIの 導入・活用 迅速・安全

セキュリティ・AIを中心に 多様な分野のお客様ニーズに対応

VISION2030 利益成長を加速する取り組み (PB事業)

● 検査装置の拡充と顧客拡大

海外メーカーにSiC(シリコンカーバイド)ウェーハ検査装置の初号機を出荷



SiCウェーハ検査装置

- グローバル拡販の開始
- SiCウェーハの複合検査 (表裏面・端面) を実現
- 処理キャパシティの拡大による高速化・自動化

化合物半導体ウェーハ向け検査装置の販路拡大

株主還元 配当

1株当たり配当金

(円)

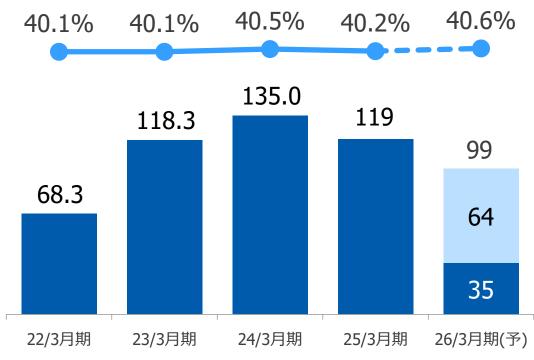
		2026年3月期					
	2025年3月期	期初予定	修正 (2025年10月29日)				
中間	52	32	35				
期末	67	64	(予定) 64				
合計	119	96	(予定) 99				

配当政策

- 利益成長による長期的な高リターン
- 業績に応じた株主還元 配当性向:40%目安

配当金·配当性向

- **→** 配当性向(%)
- 1株当たり配当金(円)



※2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施 (2023年9月以前の配当金額は当該株式分割が行われたと仮定して記載)



本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。 当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



補足資料 一覧

• VISION2030	MISSION	P27
VISION		P28
● 全社方針		P29
● 事業運営方針		P30
● 財務モデル		P31
● 資本政策		P32
● サステナビリティー	への取り組み	P33
● 中期経営計画	実績と計画	P34
● 損益計算書		P35-36
CN事業	品目別売上高構成	P37
● EC事業	品目別売上高構成	P38
● EC事業	用途別売上高構成	P39
●品目		P40
● 受注残高の推	移	P41

VISION2030 MISSION

半導体やITを中心とする最先端テクノロジーを通して

社会課題に向き合い

期待を超える価値を持つ解決策を提供することで

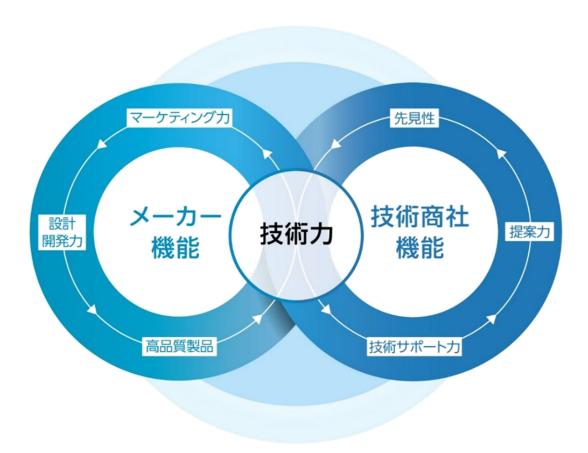
社会の持続的発展に貢献する



潜在的な社会課題

VISION2030 VISION

メーカーと技術商社の力で 潜在的な**社会課題を解決する**会社



VISION2030 全社方針

1

「メーカー」と「技術商社」の力により 潜在的な社会課題 (顧客課題) の解決を図る

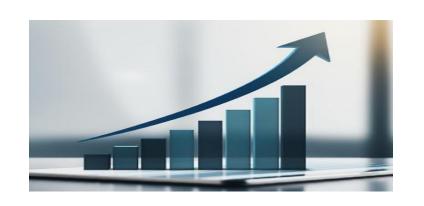
- 全てのビジネスユニットが、自社製品(サービス)開発にも取り組みグループシナジーを 創出することにより、期待を超える価値を持つ課題解決策を提案する
- 潜在的課題に対するマーケティング強化のため、 技術商社部門は新規代理店権と顧客商権の獲得を推進する
- 課題解決を可能とする事業基盤の早期確立に向け、積極的にM&Aを活用する



2

持続的な利益成長に資する行動を推進する

- 差別化できる自社製品(サービス)開発に向けた積極的な投資を行う
- フロー型からストック型サービスビジネスへの移行を推進する
- 中長期利益の拡大に向けた投資(研究開発、人材採用、社員教育等)を行う



VISION2030 事業運営方針

CN事業

- 顧客のニーズを理解し、DXを支えるソリューションとサービスを提供
- 顧客のデジタル技術活用を支援し、顧客満足度を向上

EC事業

- 産業機器、車載関連機器、クラウドサービス、OTセキュリティ分野などの成長マーケットに注力
- 半導体の専門知識を生かし、ソリューション型ビジネスを展開

PB事業

- 計測・検査技術を核に、ウェーハ検査装置を中心とした製品をグローバルに提供
- 半導体関連技術と高品質な開発・製造基盤を生かし、医療ODM及び基板OEMのサービスを強化

VISION2030 財務モデル(目標とする経営指標)

「増益増収」(増益率>増収率)による 持続的な利益成長を目指す

2030年3月期

● 売上高

3,000 ~ 3,500 億円

● 経常利益率

8 %以上

● ROE (株主資本)

20 %以上

	売上高構成比	目標経常利益率
CN事業	15 %	12 %
EC事業	75 %	7 %
PB事業	10 %	10 %

VISION2030 資本政策

持続的な利益成長による企業価値のさらなる向上

成長投資

持続的な成長への投資

- 技術開発・事業拡大に向けた 積極的な投資(M&A含む)
- 競争力強化を目的とした 社内DX、社外DXへの投資
- 人材育成への積極的な投資

株主還元

利益成長による 長期的な高リターン

- 持続的な利益成長を実現し 企業価値向上
- 業績に応じた株主還元 (配当性向:40%目安)

財務健全性

財務体質の強化と適切な財務レバレッジ

- 自己資本比率:40%以上
- ROE: 20%以上
- 適正な在庫水準の維持

サステナビリティへの取り組み

基本方針

- 事業を通じて提供する様々なソリューションによって、豊かな暮らしと持続的な社会の発展へ貢献します
- マテリアリティ(重要課題)の解決に取組むことで、当社グループの持続的な発展・企業価値の向上を目指します

マテリアリティ(重要課題)

- 1. 当社が培ってきたエレクトロニクス及びITを中心としたリソースを活かし、持続的な社会の実現に貢献する。
- 2. 基本的人権の尊重を根幹に据え、働きやすさ・働きがいを意識した労働環境と人事制度を構築し、会社の永続的な発展を目指す。
- 3. 企業活動により生じる環境負荷(環境リスク)を軽減し、社会と会社が持続可能な関係を継続する。









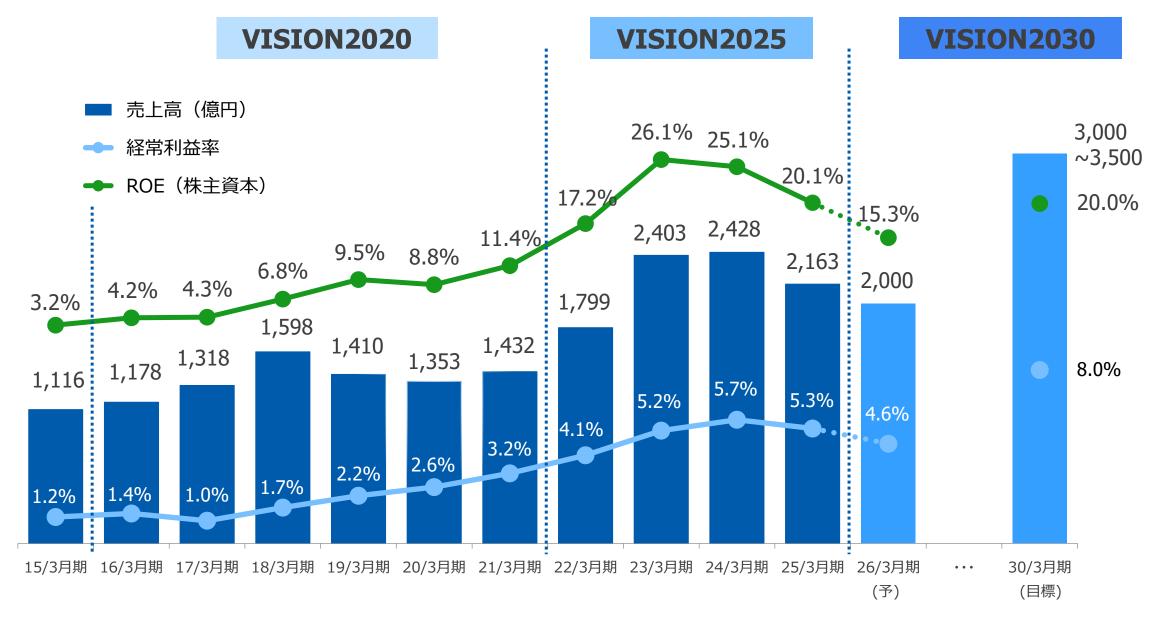






人的資本/多様性	気候変動
グローバルな視点で顧客満足を追求できる人材の育成社員の向上意欲を支援し、個々の能力を伸ばす環境を整備次世代リーダーの育成に注力	 2050年度 カーボンニュートラルを目指し、 2030年度の目標を設定(2021年度対比 50%削減) 2023年10月よりエンジニアリングセンター(横浜市都筑区)を 実質再生可能エネルギー由来の電力に切り替え

中期経営計画 実績と計画



損益計算書

(百万円)

			2024年	3月期			2025年	3月期			2026年3	3月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	= = =	59,012	60,685	60,049	63,140	56,607	55,105	50,383	54,283	45,136	51,107		
	CN事業	7,099	7,253	6,587	12,037	8,741	8,946	8,460	11,179	8,741	10,453		
	EC事業	51,912	53,431	53,462	51,102	47,865	46,158	41,923	43,103	36,394	40,653		
売上原	京価 (1)	50,091	51,594	51,049	52,984	47,411	47,876	42,131	45,226	38,681	43,716		
売上総	総利益	8,921	9,090	8,999	10,156	9,195	7,228	8,252	9,056	6,454	7,391		
	利益率	15.1%	15.0%	15.0%	16.1%	16.2%	13.1%	16.4%	16.7%	14.3%	14.5%		
販管費	貴及び一般管理費	5,292	5,565	5,292	5,588	4,942	5,188	5,686	5,456	4,999	5,284		
営業和	川益	3,628	3,524	3,707	4,568	4,252	2,040	2,565	3,599	1,455	2,106		
	利益率	6.1%	5.8%	6.2%	7.2%	7.5%	3.7%	5.1%	6.6%	3.2%	4.1%		
営業タ	卜収益	69	116	164	64	72	130	54	214	356	-70		
営業タ	卜費用	554	530	408	427	711	-363	831	333	95	85		
経常和	川益	3,143	3,110	3,463	4,204	3,614	2,533	1,787	3,480	1,715	1,951		
	利益率	5.3%	5.1%	5.8%	6.7%	6.4%	4.6%	3.5%	6.4%	3.8%	3.8%		
	CN事業	579	683	712	1,487	1,153	1,015	1,017	2,079	1,488	1,120		
	EC事業	2,563	2,426	2,750	2,717	2,460	1,517	770	1,400	227	831		
特別和	川益	4	_	_	_	0	_	_	0	0	0		
特別損	美失	0	1	32	4	0	1	0	4	0	1		
税引育	前当期純利益	3,147	3,109	3,430	4,200	3,614	2,531	1,786	3,475	1,715	1,949		
	利益率	5.3%	5.1%	5.7%	6.7%	6.4%	4.6%	3.5%	6.4%	3.8%	3.8%		
当期純	·利益	2,210	2,390	2,544	2,935	2,506	1,811	1,278	3,306	1,240	1,368		
	利益率	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%	4.4%	3.3%	2.5%	6.1%	2.7%	2.7%		
親会社	上株主に帰属する当期純利益	2,186	2,364	2,519	2,915	2,494	1,810	1,269	3,300	1,217	1,362		
	利益率	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%	4.4%	3.3%	2.5%	6.1%	2.7%	2.7%		

損益計算書

(百万円)

							2025年3	 月期						(נונים)
	10	5	2Q		上其	A Company of the Comp	30	5	40	5	下	朝	通期	玥
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高	56,607	-4.1%	55,105	-9.2%	111,712	-6.7%	50,383	-16.1%	54,283	-14.0%	104,666	-15.0%	216,379	-10.9%
CN事業	8,741	23.1%	8,946	23.3%	17,687	23.2%	8,460	28.4%	11,179	-7.1%	19,640	5.4%	37,327	13.2%
EC事業	47,865	-7.8%	46,158	-13.6%	94,024	-10.7%	41,923	-21.6%	43,103	-15.7%	85,026	-18.7%	179,051	-14.7%
売上原価	47,411	-5.3%	47,876	-7.2%	95,288	-6.3%	42,131	-17.5%	45,226	-14.6%	87,358	-16.0%	182,646	-11.2%
売上総利益	9,195	3.1%	7,228	-20.5%	16,423	-8.8%	8,252	-8.3%	9,056	-10.8%	17,308	-9.6%	33,732	-9.2%
販管費及び一般管理費	4,942	-6.6%	5,188	-6.8%	10,131	-6.7%	5,686	7.4%	5,456	-2.4%	11,143	2.4%	21,274	-2.1%
営業利益	4,252	17.2%	2,040	-42.1%	6,292	-12.0%	2,565	-30.8%	3,599	-21.2%	6,164	-25.5%	12,457	-19.3%
経常利益	3,614	15.0%	2,533	-18.5%	6,147	-1.7%	1,787	-48.4%	3,480	-17.2%	5,267	-31.3%	11,415	-18.0%
CN事業	1,153	99.0%	1,015	48.5%	2,168	71.7%	1,017	42.7%	2,079	39.8%	3,097	40.8%	5,266	52.0%
EC事業	2,460	-4.0%	1,517	-37.5%	3,978	-20.3%	770	-72.0%	1,400	-48.5%	2,170	-60.3%	6,149	-41.2%
税引前当期純利益	3,614	14.8%	2,531	-18.6%	6,146	-1.8%	1,786	-47.9%	3,475	-17.2%	5,262	-31.0%	11,408	-17.9%
当期純利益	2,506	13.4%	1,811	-24.2%	4,318	-6.1%	1,278	-49.8%	3,306	12.6%	4,585	-16.3%	8,904	-11.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,494	14.1%	1,810	-23.4%	4,305	-5.4%	1,269	-49.6%	3,300	13.2%	4,569	-15.9%	8,874	-11.1%
							2026年3	月期						
	10		2Q		上其		30		40		下其		通其	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高	45,136	-20.3%	51,107	-7.3%	96,244	-13.8%								
CN事業	8,741	0.0%	10,453	16.9%	19,195	8.5%								
EC事業	36,394	-24.0%	40,653	-11.9%	77,048	-18.1%								
売上原価	38,681	-18.4%	43,716	-8.7%	82,398	-13.5%								
売上総利益	6,454	-29.8%	7,391	2.2%	13,845	-15.7%								
販管費及び一般管理費	4,999	1.1%	5,284	1.8%	10,283	1.5%								
営業利益	1,455	-65.8%	2,106	3.3%	3,561	-43.4%								
経常利益	1,715	-52.5%	1,951	-23.0%	3,667	-40.3%								
CN事業	1,488	29.0%	1,120	10.3%	2,608	20.3%								
EC事業	227	-90.8%	831	-45.2%	1,058	-73.4%								
税引前当期純利益	1,715	-52.5%	1,949	-23.0%	3,665	-40.4%								
当期純利益	1,240	-50.5%	1,368	-24.5%	2,608	-39.6%								
親会社株主に帰属する当期純利益	1,217	-51.2%	1,362	-24.8%	2,580	-40.1%								

CN事業 品目別売上高構成

	ストレージ関連製品	ネットワーク関連製品	セキュリティ関連製	品他 保守・監視サービス
25/3月期 中間	18%	29%	16%	37%
26/3月期 中間	23%	20%	17%	40%

品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ストレージ関連製品	40.9%	通信事業者向け 大型案件等あり好調	ピュアストレージ
ネットワーク関連製品	▲ 25.3%	データセンター・クラウド事業者向け 前年比では減少	F5 / アリスタネットワークス インフォブロックス / エクストリーム
セキュリティ関連製品他	14.3%	エンタープライズ向け好調	ネットスコープ / センチネルワンニュータニックス
保守・監視サービス	16.9%	通信事業者向けストレージ関連製品 データセンター・クラウド事業者 システムインテグレーター 向けネットワーク関連製品の保守好調	TED

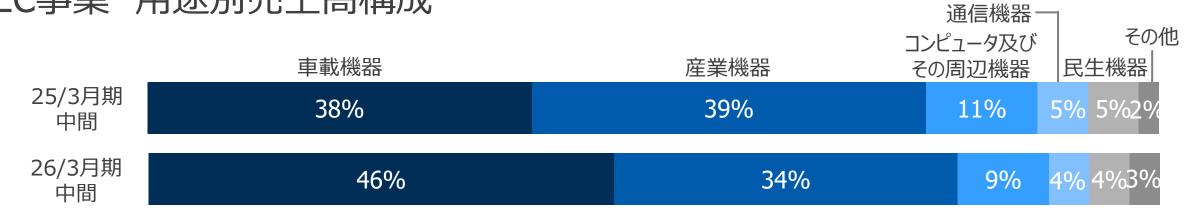
EC事業 品目別売上高構成

ボード・電子部品他 ソフトウェア・サービス

	ロジックIC	プロセッサ	アナログIC	メモリIC			PB
25/3月期 中間	21%	24%	22%	6%	15%	5%	7%
26/3月期 中間	28%	18%	18%	6%	16%	7%	7%

品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ロジックIC	7.6%	顧客の在庫調整や需要減などの影響あるも 商権拡大で車載機器向け増加	インフィニオン / NXP / TI / ラティス / ams-OSRAM
プロセッサ	▲36.7%	顧客の在庫調整と需要減で 産業機器 車載機器 PC周辺機器向け減少	インフィニオン / NXP / TI / インテル
アナログIC	▲31.5%	顧客の在庫調整や需要減などの影響で 車載機器 産業機器向け減少	TI / ams-OSRAM / NXP
メモリIC	▲ 19.5%	車載機器向け需要減	インフィニオン / エバ゛ースヒ°ン
ボード・電子部品他	▲ 13.1%	商権拡大で車載機器向け増加 産業機器やコンピュータ周辺機器向けは減少	NXP / ams-OSRAM / Sandisk / インテル
ソフトウェア・サービス	8.2%	産業機器のセキュリティ製品が増加	マイクロソフト / トレリックス / デル・テクノロジーズ
PB	▲19.3%	ウェーハ検査装置 設計・量産受託サービス減少	TED / TED長崎

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
車載機器	▲1.0%	カーナビゲーション 車載計器 先進運転支援システム ディスプレイ 車載ECU(電子制御ユニット) リチウムイオンバッテリー 車載用インバータ	顧客の在庫調整などでプロセッサ・アナログIC減少 商権拡大でロジックIC・電子部品増加
産業機器	▲29.9%	医療機器/分析装置 半導体製造装置 FA機器 工業用ロボット 加工機 計測器 制御システム 電子部品実装関連装置 インバータ	顧客の在庫調整などで FA・ロボット・産機向け プロセッサ・アナログIC減少
コンピュータ及び その周辺機器	▲28.9%	複合プリンタ POSシステム ストレージ/サーバー プロジェクタ PC及び付属機器	PC POS向けプロセッサ減少 プリンタ向け検査装置減少
通信機器	▲28.8%	5G基地局 光伝送装置 衛星通信機器 ワイヤレスIPネットワーク機器	通信基地局向けプロセッサ・ロジックIC減少
民生機器	▲23.2%	電子楽器 家庭用ゲーム機 デジタルカメラ エアコン TV/HDDレコーダ 家庭用燃料電池	電子楽器・家電向け ロジックIC減少

品目

	品目	主な製品	機能
	ストレージ関連製品	フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
CN争未	セキュリティ関連製品他	エンドポイント ネットワーク クラウド	コンピュータシステム、ネットワーク、データなどを、攻撃や 破損、不正アクセスから保護する
	保守・監視サービス	機器の保守サービス セキュリティ監視サービス	
	ロジックIC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC ASIC PLD	論理回路をパッケージ化したIC 特定用途向けに作られた専用IC お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	アナログIC	アナログIC	色々な用途に共通に使用されるIC
EC事業	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ボード・電子部品他	ボード 電源 光学部品	プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品(ボード)
	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア クラウドサービス	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア サブスクリプションでのサービス提供
	PB	設計・量産受託サービス 自社ブランド製品	お客様の仕様に応じた基板の設計・開発・量産製造業向け機器

受注残高の推移

